

横浜都心部

コミュニティサイクル社会実験の取組

横浜コミュニティサイクル

baybike



目的と期待される効果



横浜都心部における取り組みの経緯

- 平成13年度 パーク&サイクル社会実験
- 平成16年度 レンタサイクル社会実験
- 平成21年度 コミュニティサイクル社会実験
(1か月間)



- 平成23～25年度 コミュニティサイクル
長期社会実験 (3年間)

社会実験の概要

- 期間：平成23年4月25日～平成26年3月31日
- 地域：MM21地区、関内・山下町地区を基本
- 規模：自転車300台用意 (現在 約150台稼働)
貸出・返却拠点 (ポート) 21箇所
- 体制：(実施主体) 横浜市 都市整備局
(運営主体) 株式会社NTTドコモ

役割分担（市、ドコモ）

- **実施主体：横浜市の役割**
 - ・ 社会実験の統括
 - ・ 実験実施に必要なサイクルポート候補地を確保
 - ・ コミュニティサイクル推進のための広報
 - ・ 効果検証や調査 など
- **運営主体：株式会社NTTドコモの役割**
 - ・ 施設整備及び運営
(サイクルポート設備や自転車等の設置、管理)
 - ・ 規模拡大のためのサイクルポート用地の確保
 - ・ 採算性向上のため、付帯する事業を実施できる
(コミュニティサイクルの料金収入および付帯事業収入は運営主体の収入となる) など

システム

- **ポート**
無人、遠隔管理
- **個人認証**
おサイフケータイまたは専用ICカードを使用
- **課金方法**
クレジットカードからの引き落とし

ポート、自転車



料金

● 料金

- 登録料金 ICカード1,050円、おサイフケータイ315円
(平成24年3月末まで登録料無料)
- 利用料金

	基本料	利用料	予約
月額会員 プレミアム	1,575円/月	最初の30分 0円 超過30分毎 210円	ご利用の30分前 から予約可
月額会員	1,050円/月		—
1回利用	105円/回		—

ポートの設置場所

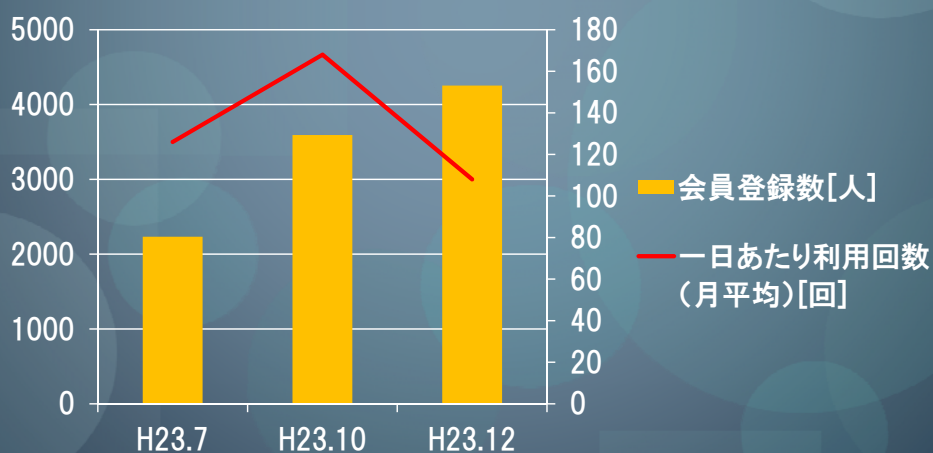
	分類	箇所数
公共 用地	駐輪場	4
	公園	3
	その他公共用地	6
	民有地	8
	合計	21



- 歩道上（道路占用）については、設置できていない。
- 道路占用許可の特例制度の活用について、道路部局と調整中。

利用状況

- **利用状況（12月31日現在）**
 - 登録者数4,253人、総利用回数30,517回
 - 一日の利用回数は多い日で200回超

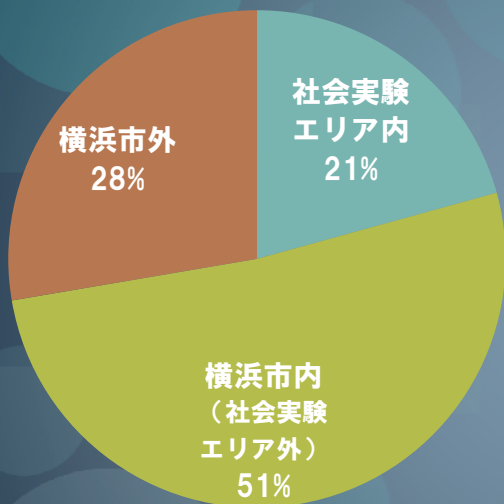


利用状況

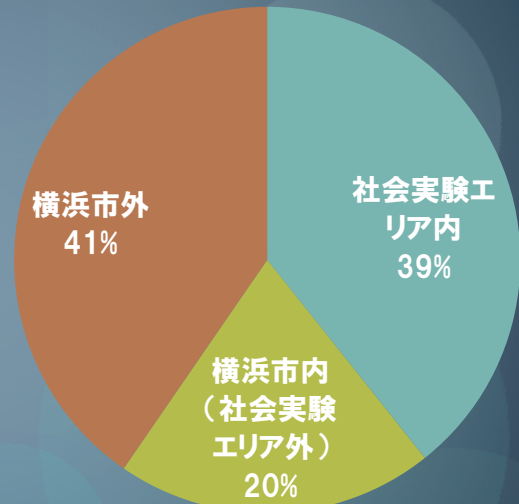
利用回数の多い移動、多いポート



利用者の居住地等 (利用者アンケート調査による)



利用者の居住地



通勤・通学先

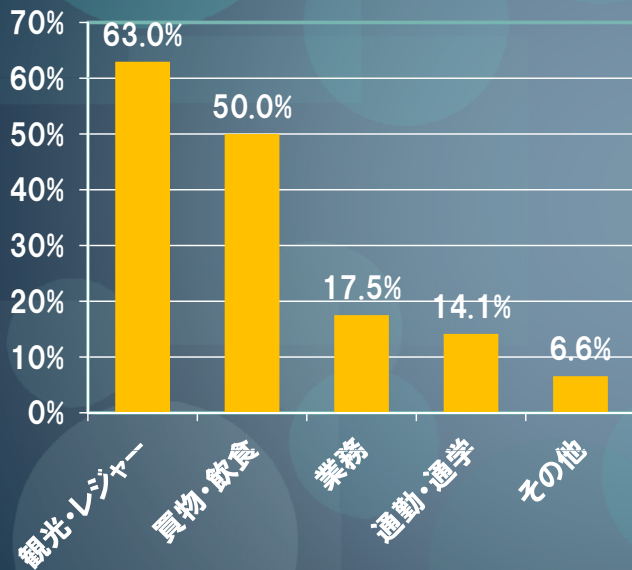


市内居住(7割)、市内通勤・通学(6割)の方が多い。

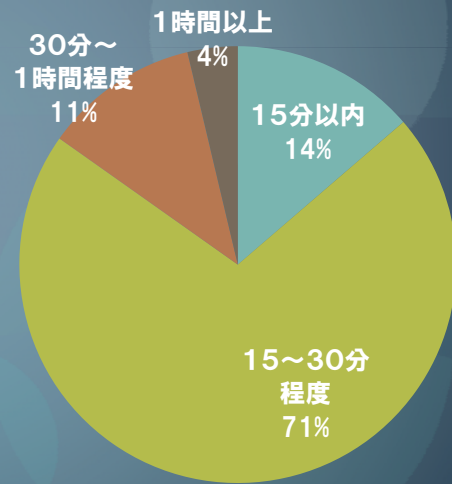
利用目的等

(利用者アンケート調査による)

利用目的



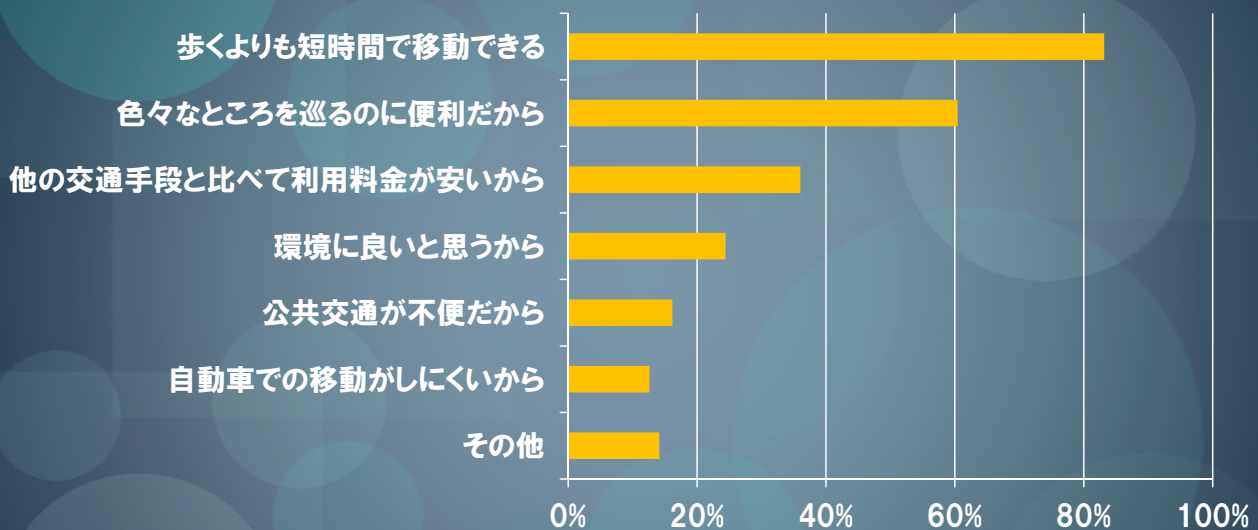
1回の利用時間



観光や買い物目的での短時間利用が多い。

利用した理由

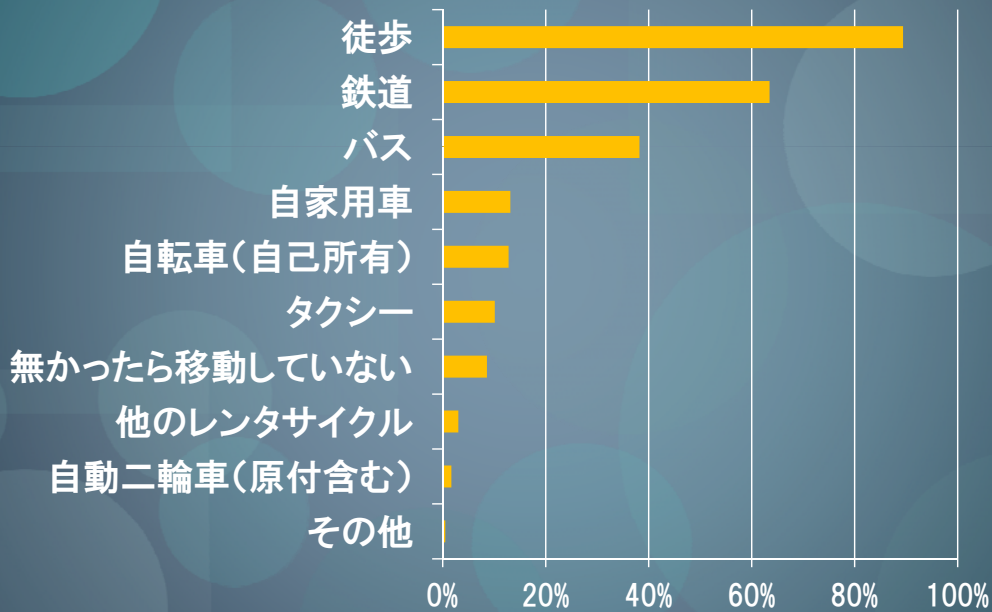
(利用者アンケート調査による)



移動時間短縮や利便性向上のために使われていることが多い。

コミュニティサイクルがなかった 場合の交通手段

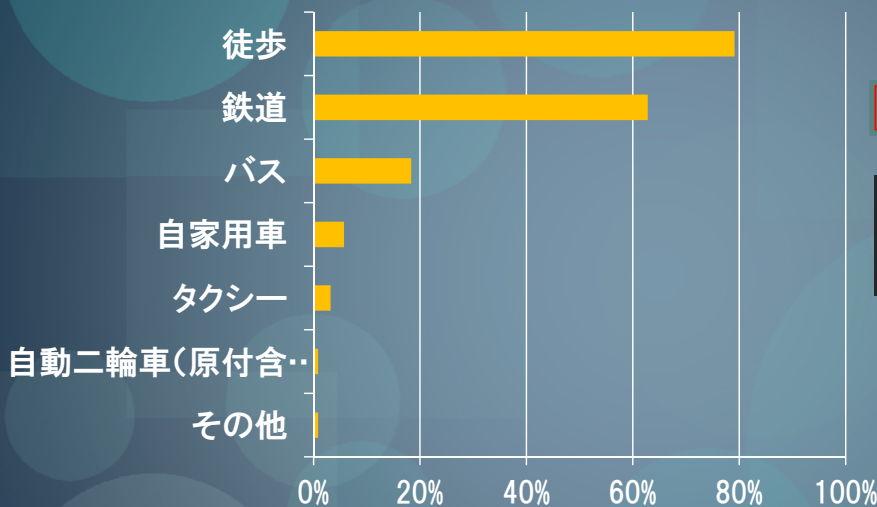
(利用者アンケート調査による)



徒歩、鉄道の代替として主に使われており、
自家用車からの転換は少ない

コミュニティサイクルとあわせて利用した 主な交通手段

(利用者アンケート調査による)



鉄道駅の端末交通
としての利用が多い

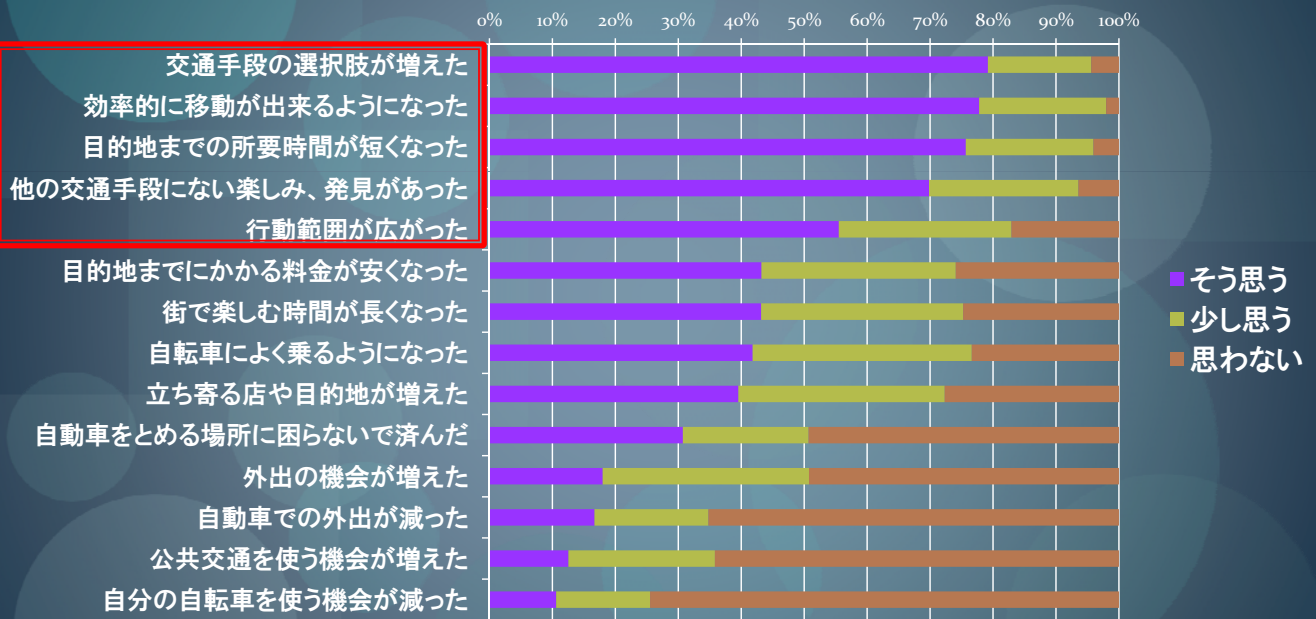
鉄道+徒歩



鉄道+コミュニティサイクル+徒歩

利用による行動の変化

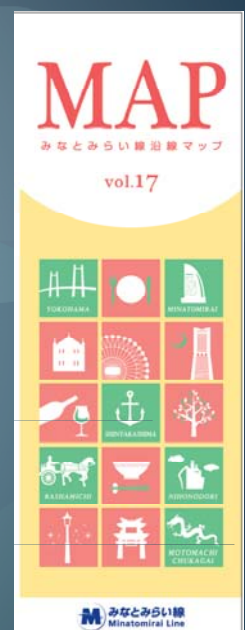
(利用者アンケート調査による)



利便性の向上、行動範囲の広がりに寄与
「他の交通手段にない楽しみ、発見があった」も多い

交通機関との連携

- **みなとみらい線沿線マップ** (駅置き) に
コミュニティサイクルのポートを記載



- 今後、suica、pasma等の**交通系ICカード**との
連携を図っていきたい。

イベントとの連携（トリエンナーレ）

- 現代芸術の展覧会（H23.8.6～11.6）
- **連携した取り組みを実施**
 - 会場に近接した場所に**ポートを設置**（2か所、うち1か所は開催期間中のみの臨時ポート）
 - トリエンナーレ会場にコミュニティサイクルの**臨時登録カウンターを設置**
 - コミュニティサイクルの**ホームページやポートでトリエンナーレのPR**



イベントとの連携（カーフリーデー）

- **横浜カーフリーデー2011**（H23.9.23）時に、日本大通り（当日は車両通行止め）で、**白井貴子さん**とともに、コミュニティサイクルをPR



本格実施に向けた取組

- **効果検証**

- 交通行動の転換（CO₂削減）
- 回遊性向上
- 自転車に関する課題（走行ルール・マナー、放置自転車）に対する効果



- **本格実施の条件**

- 交通機関としての役割の明確化
- 採算性の確保

- 外部有識者等による「**コミュニティサイクル検討委員会**」での検討